

New

Renewal

DX
対応コースGX
対応コース

Online

競技会

セット推奨

一般研修

一般研修カリキュラム

コース番号	コース名	期間	
8312	精神・発達障害者支援のためのSST(応用編)	令和8年10月8日(木)～10月9日(金)	
開催会場	職業能力開発総合大学校(東京都小平市)	定員	日数
		10	2
研修種別	訓練の過程 訓練管理 キャリアステップ ステップ2	訓練の要素	受講生管理(指導)
研修のねらい 及び 到達目標	社会生活スキルトレーニング(SST)を活用した精神・発達障害者の支援ができるることを目指します。 (到達目標) ・社会生活スキルトレーニング(SST)について、学んだ理論を実践に活かすことができるようになる ・社会生活スキルトレーニング(SST)の実践の幅(障害者、家族、職員間)や技能を広げることができる ・アセスメント(見立て)をより深くして相手を理解することを学ぶ		
最低限 必要な知識	「精神・発達障害者支援のためのSST(基礎編)」を受講された方で、一度でも実践の経験がある方。 チームを組んで、SSTを立ち上げようとされている方。		
研 修 内 容	項目 目(予定)		講義 実技・演習
	1 SST基礎編の振り返り (1) SSTの進め方 (2) SSTの技法	0.5H	1H
	2 アセスメントのツール(課題設定の仕方)を確認する (1) ワークシートを用いて (2) コインマップを用いて (3) 日頃の面接から	1H	1H
	3 アセスメント—セッション一般化促進 SSTの技法 (1) 基本モデル1 (2) 問題解決法 SSTの形態 (1) ひとりSST (2) グループSST		1H 1H
	4 宿題	0.5H	
	5 宿題報告	0.5H	2.5H
	6 課題(宿題)から演習へ—困り事の解決に向けて— (1) 良い課題の作り方 (2) 良いSSTの技法		2H
	7 評価の仕方		0.5H
	8 質疑応答 [※実務経験1年以上必要]	0.5H	3H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	SST研修基礎編を受講後、①実際にグループや個別SSTを実施されている方。②進行する際に課題を抱えている方、課題の出し方に困っている方。③グループや個別SSTを実施しようという方、立ち上げ方の指導を希望される方。④受講者同士の交流も行います。		
研修成果が 活用できる 職務	職務1	職務2	職務の内容
担当教員 (予定)	外部講師		
使用する 機器等			
受講者が用意 するテキスト (予定)	これまでの10時間研修で使用されたテキストを持参してください。 外部機関で10時間研修を受けた方もその時の資料をお持ちください。		